

「プラネタリウムがやってきた！」活動レポート



町会の皆さんも見学にきました。



まずは星座早見盤をつくります。



丸天井に星空を映します。

■講師の感想

大人の方にも多くご参加いただきました。大人は手作りのプラネタリウムドームに興味を持たれたようですが、ちばサイの活動では私もいつも実験のための手作り道具などに感心させられています。手作りの良さはいろいろあると思いますが何といたっても身近に感じられることです。星空も手作りドームで子供たちに身近に感じてもらえたらいいなと思います。内容については概ね楽しんでいただけたようですが、これからも工夫をしていきたいと思っています。

岩上洋子（プラネタリウム解説員）

■参加者の感想

孫たちは、「楽しかった！」と言って、両親にいろいろ報告、小学4年生の子は、学校で習った星座の名前が言えて褒めていただいて嬉しかったようです。探検基地のような格好のドームに入ると、天井に星がいっぱいになるのは楽しかったです。家庭用ミシンで作られたことにも驚きです。膨らんだり縮んだりするドームにワクワクしながら入り、みんなでキャンプするように固まって丸くなって星を見上げるのは、親近感があってよかったです。

中谷道代

岩上洋子さんの移動式プラネタリウムが、松戸にやってきました。2月2日（土）、市民交流会館にてイベントを実施。座布団に座り大人8名、子供だと10名くらい入れるとのことでしたが、高齢者にも配慮し椅子を入れ定員7名としました。星座早見盤づくりも含め45分間、5回の投影、幼児を含め述べ30名が参加しました。ドームは、ミシンで暗幕用の遮光カーテン生地を縫い、最初は縫い目から光漏れがありダメ、何度もやり直し、試行錯誤で1年半、ようやく4号機で完成とのこと。その完成度が素晴らしい、大型扇風機で風を送ると、数分で3mのドームが膨らみます。参加者も興味津々。「えっ、手作り、よく作ったね〜」と感心。星座早見盤を作り、今宵の星座を確認。そして、いよいよドームの中へ、空気が漏れるとドームがしぼんでしまうので、順番に素早く入ります。岩上さんが入って、パソコンを操作すると、あっという間に星空が拡がり、そこは宇宙空間。「わ〜綺麗〜」と歓声、ため息が拡がります。冬の星座を探し、地球を飛び出し宇宙旅行もしました。白井市プラネタリウムの長谷

川好世さんもスタッフ参加、充実した内容となりました。各回少人数でしたが、地域の皆さんに喜んでいただきました。星の七宝焼きの飯沢能布子さんも駆けつけ、「手作りプラネを体験できて面白かったです！思ったより簡単な装置で移動も素早くできるのに驚き、ドームがあっという間に膨らみ、美しい星空が投影され、多くのお話しに対応されるそう、すばらしいですね。」との感想です。



プラネタリウムの仲間たち。